

PRTRデータ集計結果（令和元（2019）年度）

栃木県環境森林部環境保全課  
令和3（2021）年4月

(1) 背景

事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的として、平成11（1999）年7月に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法）が公布された。

本法では、政令で定める462種類の化学物質（第一種指定化学物質）を取扱い、かつ、政令で定める届出要件（業種、従業員数、取扱量等）を満たす事業者は、1年間にどのような物質をどれだけ環境中へ排出したか、あるいは廃棄物としてどれだけ移動したかを、県を経由し国へ報告する、PRTR（化学物質排出移動量届出）制度が定められている。

国はそれを集計し、家庭や農地、自動車などから排出される化学物質の量を推計し、合わせて公表することとなっている。

この制度により、事業者が、自ら排出している化学物質の量を把握することによって、化学物質排出量の削減への自主的な取組が促進されることが期待される。

また、PRTR制度で得られたデータを利用して、県民、事業者、行政が、化学物質の排出の現状や対策の内容等について、話し合いながら協力して化学物質対策を進めていくことが期待されている。

(2) PRTR制度による排出量の把握

ア 届出件数

「化学物質排出把握管理促進法」に基づく令和元（2019）年度の第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出事業所数は、表1のとおりであり、本県は全国の約2.2%を占めている。

表1 届出事業所数

年度	栃木県	全国	割合
R1（2019）	717	33,318	2.2%
H30（2018）	719	33,669	2.1%
H29（2017）	731	34,253	2.1%

イ 環境への排出量

令和元（2019）年度の県内の届出排出量と推計排出量を合わせた総排出量は、7,903t（平成30（2018）年度は8,497t）である。届出排出量は全体の51%（同51%）を占め、それ以外から排出される推計排出量は49%（同49%）であった（図1）。

届出排出量の内訳は、大気への排出99%（同99%）、公共用水域への排出1%（同1%）であった。

発生源別の内訳をみると、事業所（製造、販売、サービス業、農業等）からの排出割合が74%（同73%）、家庭から9%（同10%）、自動車等から17%（同17%）であった。

なお、これらの数値については、全ての事業者を対象としていないことや、推計により算出したものも含まれていることなどから、その精度に一定の限界があることに留意する必要がある。

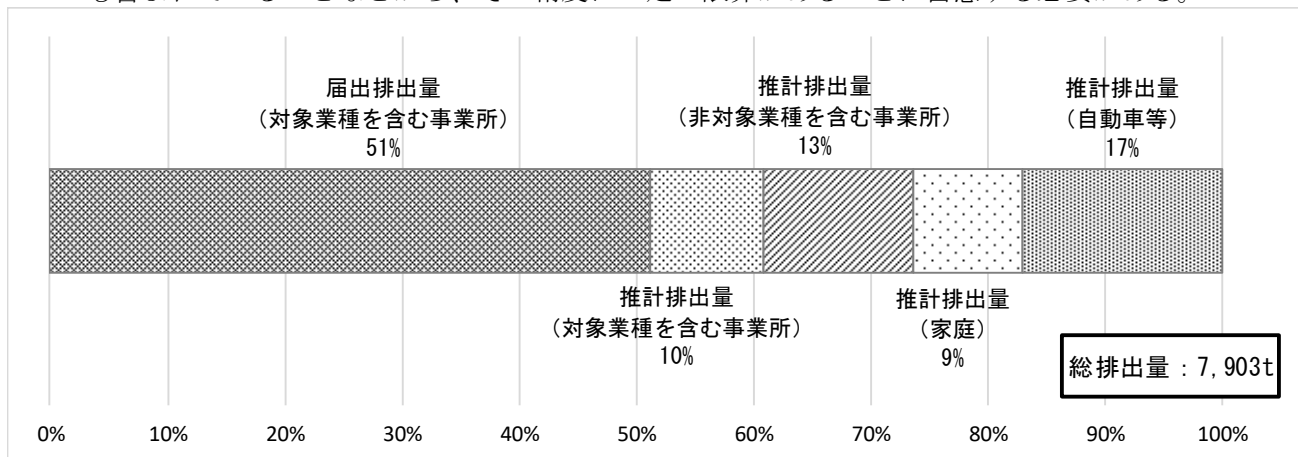


図1 発生源別割合（届出・推計）（令和元（2019）年度）

(7) 届出排出量

a 大気への排出量

県内の事業所から届出のあった大気への排出量3,985t(平成30(2018)年度は4,290t)の上位5物質を図2に示す。排出量の多い物質の主な用途は、次のとおりである。

- (a)トルエン：塗料やインキ等の溶剤、ガソリン成分、他の化学物質の合成原料
- (b)キシレン：塗料や農薬等の溶剤、ガソリン・灯油成分、他の化学物質の合成原料
- (c)ジクロロメタン：洗浄剤(金属脱脂)、インキ成分、ペイント剥離剤、溶剤等

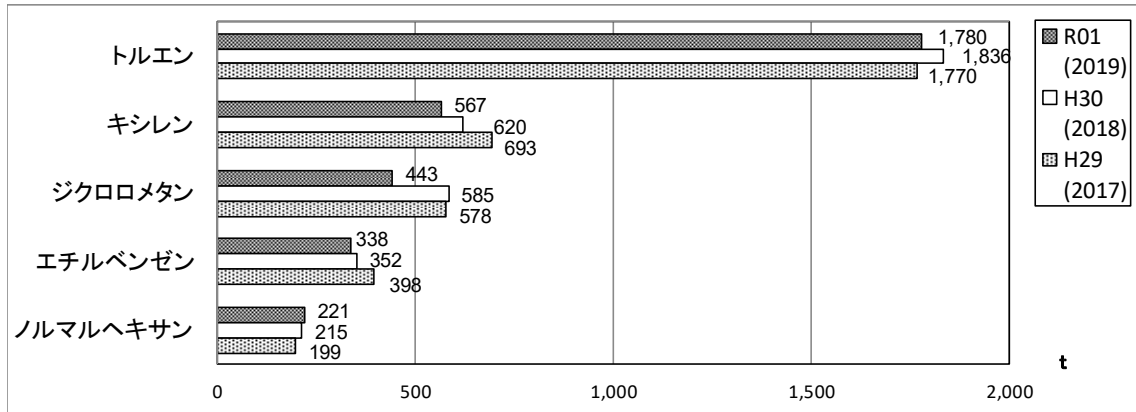


図2 大気への排出量(届出)(平成29(2017)~令和元(2019)年度推移)

b 公共用水域への排出量

県内の事業所から届出のあった公共用水域への排出量60t(平成30(2018)年度は51t)の上位5物質を図3に示す。排出量の多い物質の主な用途は、次のとおりである。

- (a)ほう素化合物：ガラス繊維用添加剤、消毒剤等
- (b)亜鉛の水溶性化合物：金属表面処理、乾電池、殺菌剤
- (c)マンガン及びその化合物：製鉄、乾電池等

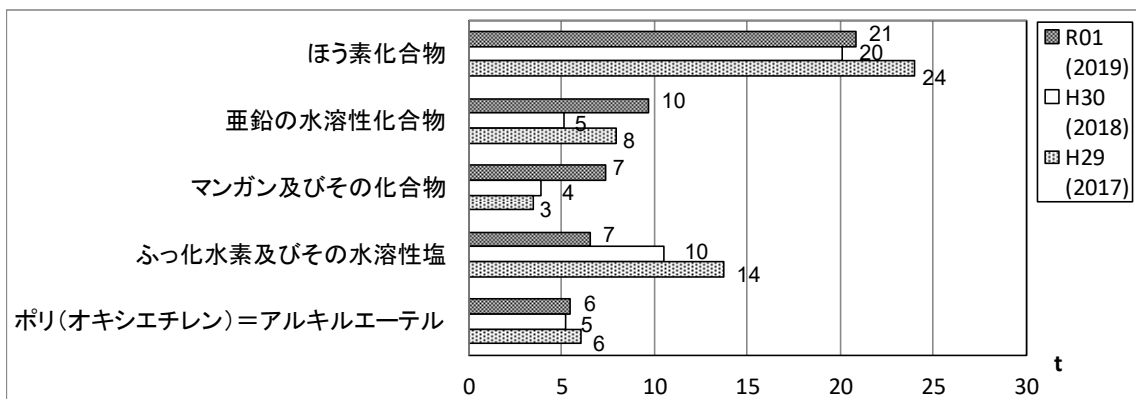


図3 公共用水域への排出量(届出)(平成29(2017)~令和元(2019)年度推移)

(イ) 推計量

a 届出の必要のなかった事業所からの推計排出量

届出要件(業種、従業員数、取扱量)を満たしていないために、届出をする必要のなかった事業所からの推計排出量1,770t(平成30(2018)年度は1,908t)の上位5物質を図4に示す。排出量の多い物質の主な用途は、次のとおりである。

- (a)トルエン：塗料やインキ等の溶剤、ガソリン成分、他の化学物質の合成原料
- (b)キシレン：塗料や農薬等の溶剤、ガソリン・灯油成分、他の化学物質の合成原料
- (c)エチルベンゼン：合成原料、溶剤

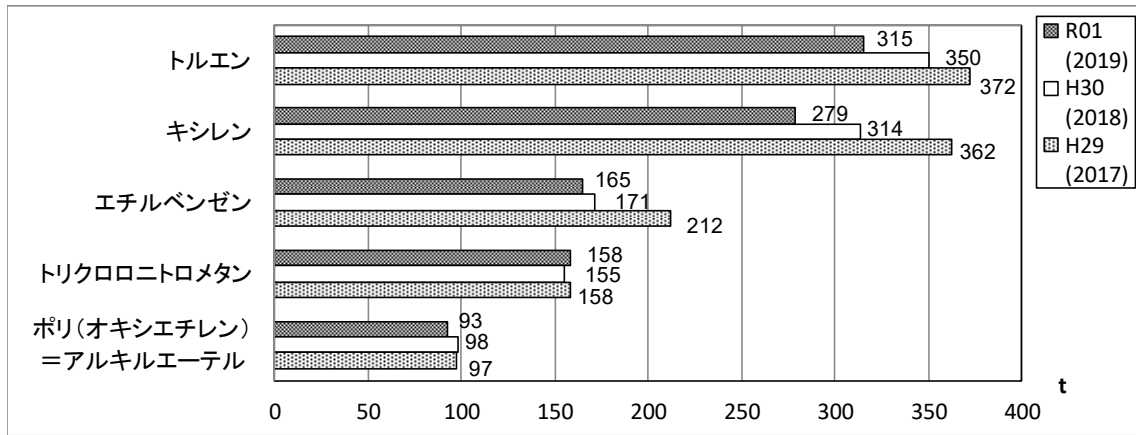


図4 届出の必要のなかった事業所からの推計排出量（推計）（平成29（2017）～令和元（2019）年度推移）

b 家庭からの推計排出量

県内の家庭からの推計排出量746t（平成30（2018）年度は817t）の多い上位5物質を図5に示す。排出量の多い物質の主な用途は、次のとおりである。

- (a)ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル：界面活性剤、可溶化剤、分散剤
- (b)ジクロロベンゼン：合成原料、溶剤、洗浄剤等
- (c)直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩：界面活性剤

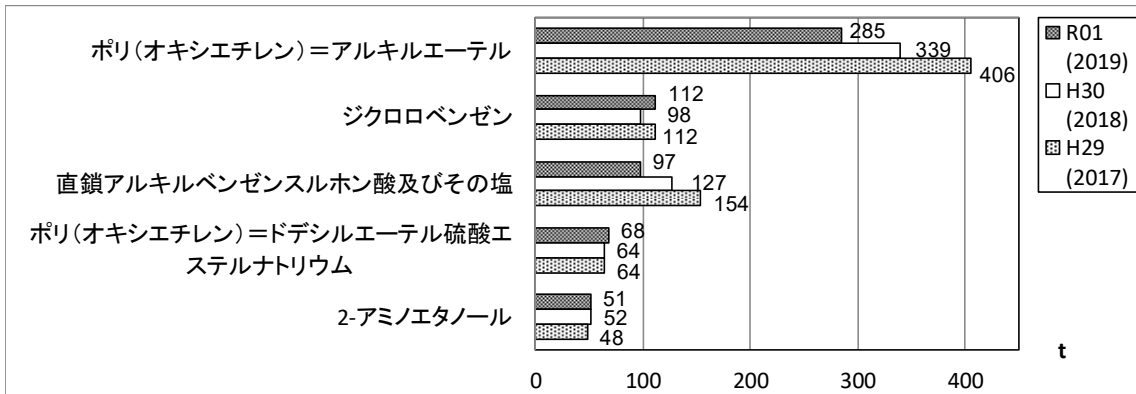


図5 家庭からの推計排出量（推計）（平成29（2017）～令和元（2019）年度推移）

c 自動車等からの推計排出量

県内の自動車等（自動車・二輪車・特殊自動車等）からの排ガスに含まれる推計排出量1,342t（平成30（2018）年度は1,432t）の多い上位5物質を図6に示す。

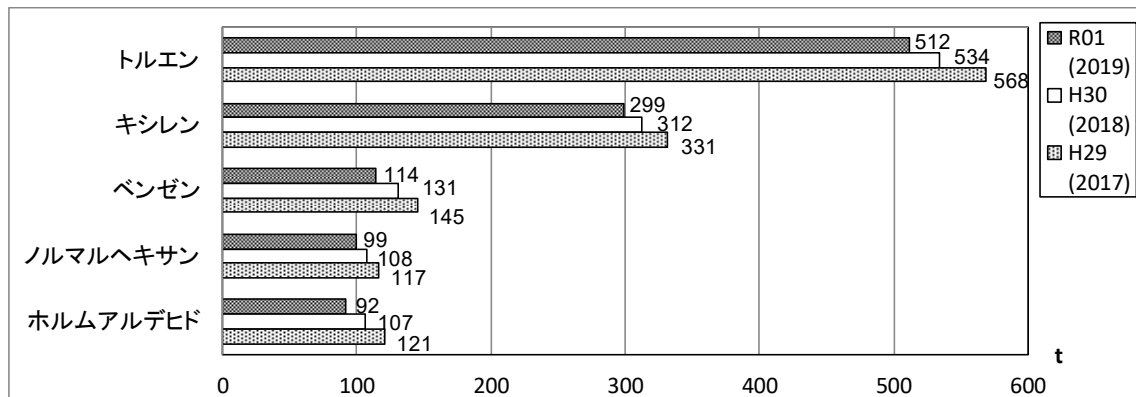


図6 自動車等からの推計排出量（推計）（平成29（2017）～令和元（2019）年度推移）

## (3) 市町別排出量

単位：kg(カ、イキシン類はmg-TEQ)

	市町名	届出数 (件)	排出量				排出量 合計	排出量上位3物質					
			大気	水域	土壌	埋立		物質名	排出量	物質名	排出量	物質名	排出量
1	宇都宮市	145	382,096	17,901	0	0	399,997	トルエン	146,124	ノルマルーヘキサン	108,803	キシレン	67,532
2	足利市	56	765,470	2,948	0	0	768,417	トルエン	198,980	ジクロロメタン	152,800	トリクロロエチレン	150,220
3	栃木市	54	175,293	2,361	0	0	177,654	トリクロロエチレン	47,200	トルエン	45,486	キシレン	29,511
4	佐野市	38	555,726	2,820	0	0	558,546	トルエン	453,934	キシレン	37,140	ジクロロメタン	31,600
5	鹿沼市	47	115,495	234	20	0	115,749	ジクロロメタン	31,600	キシレン	29,287	トルエン	24,839
6	日光市	28	53,672	10,291	0	0	63,964	トルエン	50,777	ほう素化合物	6,857	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,108
7	小山市	58	308,779	3,946	0	0	312,725	キシレン	116,820	トルエン	73,739	エチルベンゼン	72,769
8	真岡市	39	250,133	7686	0	0	257,819	トルエン	84,843	キシレン	54,924	エチルベンゼン	30,819
9	大田原市	37	101,966	2,282	0	0	104,248	トルエン	31,606	スチレン	23,102	キシレン	18,768
10	矢板市	12	35,009	175	0	0	35,184	ジクロロメタン	32,000	トルエン	1,142	キシレン	889
11	那須塩原市	44	134,342	3,581	0	0	137,923	ジクロロメタン	108,200	ノルマルーヘキサン	11,848	キシレン	6,213
12	さくら市	24	28,787	745	0	0	29,531	トルエン	17,846	1-ブロモプロパン	5,800	ジクロロメタン	3,502
13	那須烏山市	13	319,950	52	0	0	320,002	トルエン	317,585	1-ブロモプロパン	2,200	ノルマルーヘキサン	103
14	下野市	16	17,065	1	0	0	17,065	トルエン	7,553	キシレン	4,838	エチルベンゼン	3,144
15	上三川町	14	322,879	3,455	0	0	326,334	キシレン	90,157	エチルベンゼン	88,465	トルエン	74,476
16	益子町	6	187	210	0	0	397	亜鉛の水溶性化合物	210	ノルマルーヘキサン	120	トルエン	47
17	茂木町	5	162	22	0	0	184	ノルマルーヘキサン	101	トルエン	43	ほう素化合物	22
18	市貝町	5	2,400	1	0	0	2,401	トルエン	1,300	ノルマルーヘキサン	1,000	メチルナフタレン	100
19	芳賀町	10	137,656	0	0	0	137,656	トルエン	51,421	ジクロロメタン	30,000	キシレン	22,895
20	壬生町	14	191,494	168	0	0	191,662	トルエン	181,947	N, N-ジメチルホルムアミド	6,600	HCFC-225	1,600
21	野木町	16	7,451	527	0	0	7,978	トルエン	5,433	ノルマルードデシルアルコール	1,200	ノルマルーヘキサン	487
22	塩谷町	3	2,100	25	0	0	2,125	スチレン	2,100	亜鉛の水溶性化合物	25	-	-
23	高根沢町	11	7,932	215	0	0	8,147	トルエン	3,070	1-ブロモプロパン	2,800	キシレン	863
24	那須町	12	10,089	10	0	0	10,099	スチレン	9,400	ノルマルーヘキサン	359	トルエン	186
25	那珂川町	10	58,981	186	0	0	59,167	HCFC-225	48,000	トルエン	5,813	ジクロロメタン	4,100
	合計	717	3,985,114	59,842	20	0	4,044,976						

※四捨五入により端数処理しているため、合計値等の計算結果にずれが生じている場合があります。

※この表は、国が令和3（2021）年3月に公表した排出量の情報を元に作成しています。